

# 東京聖書学院 Tokyo Biblical Seminary 学院だより

2013年  
夏号 [合併30号]  
7月1日発行

発行所/〒189-8512 東京都東村山市廻田町1-30-1

[東京聖書学院] 042-391-3076 fax.042-397-7558 郵便振替00190-0-78949  
[聖書学院後援会] 042-394-8791 郵便振替00170-8-136685

ほめられても、そしられても、悪評を受けても、好評を博しても、神のしもべとして自分をあらわしている

IIコリント6:1~10



学院長 錦織 寛

Nishikiori Hiroshi

自分が何か？ 自分は何のために造られ、何のために生きているのか、または、人々から自分はどうに見えてもらいたいのか…頭いいねえとか、若いねえとか、かつこいいねえとか、話がおもしろいねえとか、そういうことではない。パウロが願っていたのは「ああ、パウロね、『神のしもべ』『神に仕える者』だな」、そのように言つてほしい。パウロはそういうのです。

## 1 どんな患難の中でも

パウロは実際、様々な苦難の中を通りました。極度の忍苦、患難、危機、行き詰まり、むち打たれること、入獄、騒乱、労苦、徹夜、飢餓…同じコリン

ト第二の手紙の十二章にはより具体的に、彼の負った苦難が書かれています。もういい加減、神さまのしもべなんてやめてしまいなよ、神さまに仕えているら、もうちょっとといいことがあるよというならともかく、他の誰よりもキリストのしもべとして生きている、キリストのしもべということにおいては他の誰にも負けない…というようなパウロの歩みの中で、人間的には何にも得することがないようと思える。「患難なんてなんでもない…」とはパウロは言いません。患難に遭つて、私は恐れがあつたし、また、時にうちしおれていた…でも、私は自分が神のしもべだという自己認識を失わなかつたし、また神さまはそんな私を支えてくださつた、パウロはそのように告白するのです。

## あらゆる場合に、神のしもべとして

### 2 どんな評価を受けても

パウロは言います。私は人がどう思つているか、人の目にどのように評価されるかということには興味がない…いやパウロも気にはしていたと思います。同じ手紙の中で、パウロは人々が自分のことについてどう言つているか知つてゐるのです。パウロって何か自信なさげでぱつとしないよなあ。何か弱々しい感じがするなあ、パウロの話つてつまらないよねえ…確かに言つてゐる人がいるのを知つて。でも自分は人がほめてくれるかどうかで生きているのではない、また悪口を言われても、それに振り回されることはない。私は神に仕える者として自らをあらわしている。そのことが自分にとっては一番大事なことだと、パウロは言うのです。

「神のしもべとして生きる」…これこそが私たちの願いです。そしてこれはまさにきよめられた神の器の姿です。聖書学院が願つてるのは、どんな中にあっても、神に仕える者として生きることができると神の器を生み出していくことです。

### 最後に

パウロは「自分は『神のしもべだ』と言つてはいけません。パウロは「わたしたちは」と言いました。パウロには一緒に旅を続ける同僚たちがありました。私たちも「よし私も！」と覚悟を決めると共に、同じビジョンを与えられ、同じ命に生きる神のしもべたちとして、共に歩んでいきたいのです。



**献身の証し**  
本科3年(編入)伊藤 真人

私はクリスチャンホームで育ち、16歳の時に救いへと導かれました。まだまだ問題だらけの私でしたが、神様が少しずつそんな私を変え始めて下さいました。しかし、献身をするというのは考えたこともありませんでした。私は、高校卒業が近づくにつれて、自分の進路を真剣に考え、志望校もしほっていました。私は、父のように社会で働きながら、教会の働きに関わって行きたいと考えていました。

しかし、2002年の1月1日、すべてが変わりました。夜遅くに私は自分の部屋で、どうしても祈らなければいけない、御言葉を開かなければいけないという衝動にかられました。そして、御言葉を開いて読み始めた時、ハガイ書2章4節の御言葉が与えられました。「しかし、ゼルバベルよ、今、強くあれ。一主の御告げ。—エホツダクの子、大祭司ヨシュアよ。強くあれ。この国のすべての民よ。強くあれ。一主の御告げ。—仕事に取りかかれ。わたしがあなたがたとともにいるからだ。一万軍の主の御告げ。—」(新改訳)この言葉を通して、主ははっきりと私に召しを与えて下さいました。私はとても驚きましたが、それと同時に心に確かな平安が与えられました。私の計画ではなく、主の計画があるという確信を頂きました。

主は私をアメリカのミシシッピ州にあるウェスレーカレッジ、そしてウェスレービブリカルセミナリーへと導いて下さいました。そして、在学中に同じ思いで主に仕えて行くパートナーも与えられました。セミナリー卒業後には約3年間、田代幸雄先生の下、ジャクソン日本語教会において副牧師としての奉仕の場も与えられました。主は私の想像をはるかに超えて、私をここまで導いて来て下さいました。この三月の末に約10年ぶりに妻と生後4ヶ月の息子と共に帰國致しました。主の導きの中、東京聖書学院で学ぶ機会が与えられていますことを心から主に感謝しています。



**献身の証し**  
本科1年 古田土 直寿

私は中学校一年生の時に茂木ホーリネス教会池上牧師を通して、イエス・キリストに出会いました。教会を訪問したのは、勉強や運動が苦手である上に、人間関係もうまくいかなくなっていました。しかし、生きていったら良いのか答えるのが欲しくてのことでした。マタイによる福音書11章28節「誰でも、疲れている人はわたしのもとにやって来なさい。私が休ませてあげよう。」この御言葉を通し、悩みから解放されました。

先祖崇拝が強い田舎で教会へ通うことは困難を極めましたが、学校帰りに茂木ホーリネス教会を訪問させていただき、毎日一章ずつ聖書を読むことができるという素晴らしい日々を過ごすことができました。そして大学進学の為に上京し、卒業後は東京都内で就職いたしました。そして、無事に受洗もできました。

しかし、受洗後の私は、神様を悲しませるような行動しかできませんでした。仕事中に相手のミスを厳しく糾弾し罵声をあびせ、裁いてばかりいました。そんなある日、神様は御言葉をもって私に罪を示してくださいました。聖書通読をしていましたところ、ミカ書6章8節「人よ、彼は先に良い事のなんであるかをあなたに告げられた。主のあなたに求められることは、ただ公義を行い慈しみを愛し、へりくだってあなたの神と共に歩むことではないか。」この御言葉を、何度も繰り返して読み、私の為に十字架にかかるくださったイエス・キリストの御名を宣べ伝えにはいられない。そう強く感じました。そして、献身の御言葉としてテモテへの第IIの手紙2章15節「あなたは真理の言葉を正しく教え、恥じるところのない鍊達した働き人になって、神に自分をささげるよう努め励みなさい。」が与えられました。

本科入学への道を開いてくださいました神様のお導きに感謝いたしております。お祈りとご指導をよろしくお願いいたします。



**献身の証し**  
本科1年 中川 祐真

私はハワイにて、大学の観光学部の生徒として、ホテルのレストラン・ウェディング部門で働いていました。初めは憧れの観光業界での仕事に心を躍らせておりましたが、当時22歳の私を待ち構えていたのは、観光業界で働く人たちの、神様を知ることが出来ずに荒れ果てた、たくさんの魂の現状がありました。私は毎日職場の平安と社員の人たちの救いのために祈っていました。

ある日の帰り道、私は「あなたはもはやこの世のものではない。」という声を聞きました。その突然の出来事の意味が解らなかった私は、教会の牧師に伺ったところ、第Iコリント人への手紙6章19、20節「あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現しなさい。」(新改訳)を示して下さいました。

何とか機会を見計らって職場の皆様へ神様の平安と祝福を伝えられないものか、と悩んでいた私であります。「ですから自分のからだをもって、神の栄光を現しなさい。」という御言葉が心に留まり、私も御言葉が人に伝えられるための道具として用いられたい、と願うようになりました。私は、まもなく分岐点に立たされました。それは、在学中の大学を中退して一年でも早く聖書学院に入るのか、それとも大学を卒業してから入学するのか。この選択が私を半年間悩ませ、苦しめました。私は神様に答えを求めていました。すると、ヨハネの福音書12章26節「わたしがいる所に、わたしに仕える者もいるべきです。」という力強い御言葉に巡り会いました。神様が私の祈りに応えて最高の助言を下さったと信じています。そして、「一年の間にあなたは何人に福音を伝えられるのか」という大胆な神様の促しに背中を押されて、一年でも早く聖書学院に行き、神様にこの人生を用いて頂きたいという思いを与えられました。私がこれからどのように用いられていくか私自身とても期待し、楽しみにしております。



**献身の証し**  
本科1年 志賀 初江

『これは道だ、これに歩め』イザヤ書30章21節の御言葉だけで、神様の奇しきお導きにより、東京聖書学院において、昨年一年間学び訓練を受けることを許され、身体と歩みが主にあって守られ感謝でいっぱいです。そして一年間、神さまが事あるごとに、御言葉をもって示してください、気付きを与えてくださっていましたことを憶えます。

2012年10月早朝、ミッション教会に向かう電車の中で、中吊りの広告を見ていた時、突然『あなたの身体を聖なる捧げものとして主に捧げよ』という文字が、目に浮かびました。その後すぐ、聖化大会があり『兄弟たちよ。そういうわけで、神のあわれみによってあなたがたに勧める。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物としてささげなさい。』(ローマ人への手紙12章1節)という御言葉が、私に迫ってきました。祈る中で献身を思はされ、あまりの薄っぶらな自分自身を思はされ、神さまが恐いと、心から思いました。誇るものなど何もない私が、召されているのだろうか?

もし御声をかけてくださっているのなら、どのように用いてくださろうとしているのかを、神さまに問い合わせ、祈り続けました。

祈り続ける中で『御言を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、それを励み、あくまでも寛容な心でよく教えて、責め、戒め、勧めなさい。人々が健全な教えに耐えられなくなり、耳ざわりの良い話しをしてもらおうとして、自分勝手な好みにまかせて教師たちを寄せ集め、そして、真理からは耳をそむけて、作り話の方にそれでいく時がくるであろう。しかし、あなたは、何事にも慎み、苦難を忍び、伝道者のわざをなし、自分の務めを全うしなさい。』テモテへの第IIの手紙4章2~5節の、御言葉が示されました。これから、起ころるであろうさまざまなことを考えたら、私には何も出来ませんが、神さまの約束を信じ、必要なことは神さまが、すべてを成してくださることを信じています。



**主に従うものとして**  
1年訓練コース 加治佐 智子

私は静岡県浜松市で育ちました。母がクリスチヤンで、小さな頃から教会に通っていました。18歳で受洗したものの、都合の良い時にしか神様の存在を感じていませんでした。大学進学で一人暮らしが始まると、世の中の事に目を奪われ、教会から離れていきました。仕事での挫折を通して教会に戻りましたが、神様については半信半疑でした。その後、仕事などのストレスで体調を崩し、退職して父母の実家である鹿児島に戻ることになりました。当初は不本意な選択でしたが、鹿児島での生活を通して、神様の導きを感じ、神様の御声を真剣に求めるようになっていきました。ユースジャム2012で、み言葉を通して神様と出会うという経験をし、ようやく心から神様を信じることができ、み言葉に生かされる人生へと変えられました。

鹿児島では、趣味で続けていたアルトサックスの仕事が与えられたのですが、「1年訓練コースで、神様に喜ばれる音楽を学びたい」という思いが与えられ、「あなたは、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。創世記12章1節」というみ言葉が与えられました。しかし、「もっとわかりやすいみ言葉をください。」と貪欲に祈っていると、神様から「どこでどのように死のうとも、私に従うか?」と迫られました。「はい、私の死もあなたの栄光のために用いられますように。」と受け入れた瞬間、「あなたは私の愛する子、わたしはあなたを喜ぶ。」(マルコの福音書1章11節)というみ言葉が与えられたのです。いよいよ直接献身か、と思いました。ところが、これは、アブラハムに「イサクをささげなさい」と言われたように、どのような召しにも喜んで従うための備えであったと示されたのです。結局、最初に示されていた1年訓練コースへの道が開かれていきました。

これからどのような召しが示されるか分かりませんが、主の御声にすぐに従うことができるよう、1年間学びと訓練に励ませて頂きたいと思っています。

## 新入生

# 献身の証し

今年は、本科の新入生3名と、1年訓練生1名、3年生への編入生1名が与えられました。5名の新入生の証しを紹介いたします。

# 東京聖書学院 信徒コース(通信教育)の ご案内

【担当講師】○講座名

- 【石原潔】○信仰の父アブラハムの生涯  
【石原潔・安井聖】○わたしたちの信仰告白  
○教会史概観とホーリネス

【泉田昭・杉澤卓巳・佐々木炎・鈴木淳】  
○超高齢社会とキリスト者

【ウイリアム・ウッド】○キリスト教の異端を考える

【斎藤善樹】○交わりにおける援助  
○心の視点から読むマルコによる福音書  
○キリスト者と心の病  
○支え合うクリスチヤンの交わり  
○カウンセリング  
○心の視点から読む福音書  
○信仰経験の心の側面

【斎藤善樹・西岡まり子】○結婚と家族

【千代崎備道】○ヨシュア記と士師記  
○旧約聖書入門

【中西雅裕】○慰めの手紙を読む  
○喜びの手紙 ビリピ人への手紙 を読む

【中道善次】○列王記の人間模様  
○イスラエルのバブル期と預言者たち  
○新約聖書入門

【西岡義行】○世界を変える小さき群れ：使徒行伝入門  
○現代人への個人伝道  
○マタイ福音書一天国をもたらす神の民  
○他宗教・無宗教の現代人に届く福音

三月三日付で、郷

ホーリネス強調週間がもたらされ、学院内の教授のほか、名譽院長の小林和夫師と、兄弟団小田原教会の藤波勝正師が、み言葉を取り次いで下さりました。また、聖会以外の時間は、静かな默想の時間をもちました。

学院デーのそれぞれのコースのテーマが決まりました。今年セ、大勢の方々の参加を心からお待ちしております。

今年度は、神学英語と英会話の講義をアーネスト・洋子・キルボルン先生ご夫妻が担当してくれます。



長をそれぞれ退任いたしました。また、四月一日付で中西雅裕が理事長に、錦織寛が院長に、西岡義行が教頭に、千代崎備道が准教授にそれぞれ就任いたしました。

3年間の寮生活を終えた篠崎和兄が、立川栄町教会で一人暮らしをしながら奉仕を始めました。その篠崎兄からのレポートを紹介いたします。



信徒コース通信教育は、一講座について、90分の講義が10回行なわれています。1枚のDVDに、2回分(180分)入っており、レポート課題を通して、先生からの指導・添削を受けることができます。課題の提出期限は特にありませんので、ご自分のペースに合わせて、学びを始めてみませんか?

また、2004年から始まった信徒コースは、教育教材として購入していただくこともできます。教会での学びや、家庭やグループでの学びのために、是非お役立てください。詳しくは、東京聖書学院事務所までご連絡ください。お申込みに必要な書類を無料でお送りします。

- イエスに学ぶ魅力的な教会教育
- 時代の中でキリスト者・教会人として生きる
- 旧約聖書のことば
- 楽しく型破りなキリスト教育人の形成
- パウロに学ぶ弟子づくり
- 人間関係と人格の形成
- 歴史を動かしてきた信仰者たち(教会史入門)

【錦織寛・他】○一生かかって人になる

【堀肇・他】○キリスト者として自らの死に備える  
　　-死生学の視点から《2013年度10月より》

【水間照弥】○教会論

　　○礼拝論

【宮崎誉】○ヨハネ福音書入門《2013年度9月より》

費用:登録料 3,150円(最初の1科目のみ)  
受講料:1科目 8,400円

受講を希望される方は、  
東京聖書学院事務所にご連絡ください。  
お申込みに必要な書類を無料でお送りします。  
**電話:042-391-3076 FAX 042-397-7558**  
**Eメール:tbs@jhc.or.jp**

2013.7.1

# ホーリネス強調週間

5月20日から22日まで行われたホーリネス強調週間での恵みの証しをお届けいたします。



本科3年 西口 修八



本科3年 下前 孝子

では、その年に相応しい恵みをいつも与えてくださっています。また、今回の強調週間は、これまでと違った受けとめ方をしたような感がいたします。それは、私自身が今まで最後にして、伝道者として歩むという現実があるからです。その現実を前にして、伝道者としてどのように歩めばよいのか、全く分からず不安に陥っていました。自分にはしっかりとみ言葉を語る力がない、さらにはこれまでたくさんのこと学んできたが、何一つ身についてないような不安に陥っていました。

その不安をどうしたら吹き払うことが出来るかと思案していたときに、「一つの糸」を与えてくださったのが、今回のメッセージでした。それは、主なる神が与えてくださる聖靈を求める事と、そして、その真理の御靈がこれまで学んできたことを教えてくださること。また、貧しいけれど必要な時に、必要なものを与えてさることを。さらに、自分の信仰の根本が主イエス・キリストの十字架(血潮と御靈)にあるということを再認識させられたのです。また、自分の古き人は、主イエスの十字架とともにつけられたこと。そして共にというのは主イエスの生命と繋がっていることを学びました。その古き人が主イエスの十字架(贖罪の祭壇)で完全に処理されていることを知らされました。その上で、献身者として立つようにと、招いてくださったことを心から感謝いたします。

インターン生 立川栄町教会 篠崎 和

私が遣わされた立川栄町教会は、礼拝出席者が10名ほどですが、みなさんが励んで礼拝を守っており、とてもアットホームな雰囲気の教会です。私はこの教会で、これまで約数ヶ月間、様々な奉仕をさせていただきましたが、その中で実際に教会を牧会する喜びと、難しさを感じています。立川栄町教会は、おととしから小平教会との兼牧となり、インター生が教会の実際的な部分を担っています。ですから主任牧師と共に生活をし、牧師から直接指導を受けるというのではなく、自分で考え、自分で実行していくかなければならない自主的な面が非常に強いのです。確かに毎週のメッセージなど、一週間のうちにしなければいけない奉仕は決まっていますが、しかしそれ以外のことは、何もしなければそれで終ってしまうのです。まずはそのことで悩みました。「私は、立川の地で何をすればよいのだろう、この私に何ができるのだろう」そんなことを思って、祈っていたときでした。立川栄町教会では、去年から近くの公園で修養生が木曜子ども会を行っているのですが、子ども会に来てくれた子どもたちが、今、毎日のように教会に遊びに来るようになって、私は今、その子どもたちとの関わりを毎日のように持つことができています。そして感謝なことに、その子どもたちが、日曜日の教会学校にもつながり始めています。今はこの目の前にいる子どもたちが、私の祈りの答えであると信じ、そしてこの子どもたちに仕えることが、この立川の地に仕え、そして何よりも、神様に仕えることなのだと信じ、過ごしています。

## 献金者御芳名

尊いご支援を心より感謝を申し上げます。

（一〇一年四月一日）～（一〇二年三月三日）

【個人】 相川文彦・紀子／青木香代子／青木恭子  
　　介・糸子／青森正祐／赤松巧晶／阿久津健司／利  
　　芦田伸枝／木田郁子／浅野孝幸／浅野礼子／  
　　新井幸枝／荒木功／飯島延浩／飯島牧子／  
　　田涼子／飯冢君江／飯冢弘道／五十嵐淳子／伊  
　　川英子／生嶋伸介／菜緒子／池田勲久／池田多  
　　賀子／池田登美子／池田久子／池田雅行／池田  
　　稔／池田洋一／恵子／池原節江／池本善彥／石井  
　　栄治／石居征江／石沢アヤ子／石田敏／石田敏  
　　撰子／石田正徳／石田美恵子／石武人／井戸千  
　　文／石塚正／石橋てる／石原和夫／石原潔／石  
　　原洋子／石渡幸子／石渡晃子／和泉季子／泉久  
　　子／井芹孝人／磯村陽子／井瀧忠雄／市川香代  
　　子／伊藤貞夫／伊藤篠得子／伊藤隆陽子／伊  
　　藤トシ子／伊藤久子／伊藤秀子／伊藤美恵子  
　　伊藤佑夫／井戸洋子／井上忠彦／猪狩勲／鈴  
　　子／井内芳子／井田里美／岩崎しのぶ／月野雪江  
　　原早苗／江間博美／遠藤正治／光江／遠藤寿男  
　　光子／遠藤知夫／大井磨／大内看二／利恵子  
　　上野広志／上原四郎／上原豊光／上原光枝／上  
　　藤トシ子／伊藤久子／伊藤秀子／伊藤美恵子  
　　間雅子／漆間光男／江澤孝子／江田喜久子／蛭  
　　子／江井芳子／江井田輔／上野悦子／上野令子  
　　原早苗／江間博美／遠藤正治／光江／遠藤寿男  
　　義徳／大友友紀子／大友豊利／大西功／大曾  
　　泰子／大野マナ子／大橋榮一／葉子／大浜光子  
　　大岡俊雄／大川アイ子／大熊多恵／大倉市政子  
　　大前信夫／大見節子／大村昌夫／大森孝子／岡  
　　大坂三郎／大曾川哉／大城邦／大谷さつま  
　　大谷博秋／敏江／大塚琢芬／大津和子／大塚  
　　義徳／大友友紀子／大友豊利／大西功／大曾  
　　泰子／大野マナ子／大橋榮一／葉子／大浜光子  
　　大前信夫／大見節子／大村昌夫／大森孝子／岡  
　　崎美喜子／岡嶋陽子／岡澄子／岡田綾／岡田宣  
　　岡野賢子／岡見君子／岡本寿美江／岡本富  
　　郎／小河美一和恵／奥村瑠子／奥村ヨシ子／  
　　棕政實／長内敏雄／小田原純子／尾野さつき／  
　　小野泰子／小幡啓子／小原登百子／於保とみ子  
　　於保治樹／尾森美江／角谷ひで子／葛西健二  
　　笠松延喜／加治佐裕子／梶田千恵子／梶永光  
　　洋／富美枝／嘉藤吉郎／加藤真実／加藤萬智子  
　　角谷ひで子／金子／要守／涼子／金本悟／金森克  
　　静子／金子／金子裕／神壁内節雄／鍛  
　　田悦／神明成子／上村美代子／神合裕／神山  
　　和子／亀井徹夫／加茂美智子／脇みね／川原  
　　扶身子／川崎直子／川島優子／川手由美子／川  
　　端哲夫／糸子／川端稔子／河原愛子／川原光子  
　　川村功／菅野望／菊地新／菊地功／菊地敏子  
　　菊地百合子／菊池羊子／北川栄子／北川孝  
　　一／壹代子／北川政雄／北川雅子／北村愛子／北  
　　村津子／北村信雄／寿子／北山昇／紀仲靖彦／

喜納良子／木野和夫／金基哲／木村公一／靖子／木村俊彦／木室義孝／峰代／木本良重／清永ひとみ／工藤美智子／工藤よね／國松久永裕子／久保井利郎／米子／久保惠美子／久保田信義／熊谷節子／熊澤元子／倉重敏子／藏本東子／栗島省司／栗島荔枝／栗田征雄／文子／栗原義忠／園江／黒阪幸江／小池幸子／小池淳／小池淳／夕工／畠久太／向後博子／小夫みのり／小嶋幸海／小島廣子／堀島まつ子／小嶋真理子／小代昇／孤田和子／児玉須美恵／寺寺政子／後藤朝子／後藤千佳子／小西純子／小林永子／小林和子／小林幸子／小林重昭／小林恒子／小林俊子／小林道夫／小林光生／小林洋子／小町巖代／美津子／小町史郎／小峯由美子／近藤咲江／近藤寛子／今野竜子／西條秀明／齊藤謙／斎藤悦子／齋藤繁實／斋藤孝志／満江／齋藤昌子／齋藤栄乃子／齋藤佳治／坂本節子／酒井佐藤朝人／斎藤幸枝／酒井鶴江／酒井有希子／酒井瑠璃子／坂本牧裕／智子／坂本みちゑ／佐久間昭代／佐久間裕子／櫻井博之／座古友三郎／秀子／座古秀子／佐々木和子／佐々木唱子／佐々木口子／佐藤彰／佐藤アサ子／佐藤朝人／斎藤幸子／佐藤佳治／坂本節子／佐藤恵／佐藤眞子／佐藤信人／佐藤信幸／弘惠／佐藤裕子／佐藤文子／佐藤義則／佐藤從子／佐野勢歳子／新谷聰／郎聖美／新谷正明／道子／新川和枝／新行内佐代子／進藤幸子／新野美佐子／未永千鶴／菅春子／菅家昌／菅原米子／杉本謙／明香／杉山雅／須崎登規子／鈴木功／鈴木勇／眞佐子／鈴木経人／増子／鈴木浩／知恵／鈴木敏子／鈴木信聰／聖子／鈴木英夫／鈴木富久／鈴木芳子／須田幸子／須田三千代／吉田明子／関根裕美子／関野勝海／瀬田桃代／瀬田善文／蘭田由子／高木其枝／高塙竹子／高根澤元／高橋惠巾／たつ子／高橋五子／高橋智恵子／高橋勤／佳代／高橋長雄／高橋雅夫／則子／高橋睦子／高林功／惠津子／高原啓子／田中綾子／田中經子／田辺房枝／谷美智子／竹内晴彦／竹内義晴／真理／竹田キヌヨ／竹田信広／竹枝／竹原勝／田尻重子／多々名三七子／田村勝子／田村由紀子／檀原久由／千野惠津美／千代崎聖子／塚原次雄／扶美枝／土屋美和／津山靖子／露崎七ツ子／寺内公／寺田進

東海悠基子／登内規夫／登内洋子／德田礼子  
子／富永三寿／豊福さみ子／冨澤信  
司／永易芳子／中上常助／中江子力／中尾多美  
子／中川民子／中島淳二／久子／長島滿子／永  
田朝美／長瀬啓子／中村彦／中村じむ子／中  
村哲寿／中谷美夫／中村美智子／中村光恵  
中村恵／登美／中村泰子／永山進／永山千重  
子／中山均／永吉輝信／文子／那須美保子／奈  
良薰／奈良橋史之／曉子／西岡まり子／西岡道  
雄／西岡義行／錦織亮／由香／錦織博義／錦織  
淑子／西口修八／野口眞由美／野口義弘  
野崎／野村明子／羽賀惠／佐田佐田紀子  
敦子／野村明子／羽賀惠／佐田佐田紀子  
田弘／橋本道明／橋本道明／長谷川和代／長谷川  
義朗／友子／畠中子／羽朋／村眞知子／木文子／林  
田孝／平田武／光子／平野次郎／平野孝雄／平  
部太郎／繁子／原田末雄／原本敦子／半田裕／  
肥後和子／肥後秀城／直美／久田博／日野めぐ  
み／日比野四郎／火物臺代枝／平井富美子／平  
井喜子／平岡充満子／平賀由理／平川礼子／平  
子／平山敏也／比留間進／久子／廣石讓／広  
瀬啓子／深澤英子／深澤進子／福井久里子／  
岡和子／福島淑行／よし子／福島真知子／福  
田恵子／福田安男／美代子／福田泰美／福田幸  
男／幸子／福原直道／り／藤井信／藤枝寿恵／  
藤岡初子／藤沢洋夫／節代／藤澤美枝／藤田恒  
子／藤田秀子／藤野美恵子／藤巻允／伏見かつ  
岡和子／福島淑行／よし子／福島真知子／福  
田恵子／福田安男／美代子／福田泰美／福田幸  
男／幸子／福原直道／り／藤井信／藤枝寿恵／  
古澤夢琴／古京子／古田大展／古屋寿枝／  
文屋正道／文屋百合子／甫足守朗／坂保なみ  
／本田奎二／本田幸子／正岡愛子／増岡ひづみ  
／益子雪子／増田鋼三／松尾妙子／松木信義  
桂子／松木徳子／松崎充彦／純子／松島勝己  
／松島米子／松田茂子／松田秀子／松田ミ子／松  
永雅鶴／松野天／松久順／松本宣子／松木とも  
／惠子／松本順／由美子／松本とも／松本宣子／  
松本由美子／松山典子／間至照雄／丸岡文信  
／満生篠子／三浦修／ヒノ子／三浦邦子／三浦美  
佳子／三木誠／三島竜子／水口功／水島和夫  
／水野博／溝呂木徹／満田真智子／簗島典代／宮  
氏肇／愛子／宮川昇蔵／恵子／宮崎聖藏／清美／  
直子／安井光／矢／中泰江／矢野登／矢野弘  
矢野美枝子／谷部栄子／山越啓子／山崎聖実／  
山崎治行／武子／山里宣子／山下文惠／山田節  
留／山田南海子／山本出／山本松治／山本義  
紀子／山田武治／鶴子／山田直可／山田智朗／  
山田義

弘多美子／山脇望／山脇正子／柚木郁子／横尾嘉子／横坂節子／横須賀智子／横田あぢ／横道弘直／吉田英郎／禮子／吉田弘子／多摩／吉田弘子（横造）／吉浜シゲ／吉村公子／吉村京子／吉村耕治／吉村久夫／米澤初音／若杉直俊／田代和仁／光信／和田忠一／安子／渡辺正子／渡辺きみ／渡辺利信／和田忠一／安子／渡辺正子／渡辺光江／渡辺百合子／渡辺美希／渡辺部賢治／さい子／渡部美智子／無記名（銀座教会）／無記名（書學學院）／匿名名  
【教会】赤湯／旭川／綾瀬／新井／池の上／伊東／糸満／今治旭方／上野／ウォールハット／クリーク／キリスト教会／宇治／美しが丘グリーン／ツヤヘル／青柳恵み／大網／大阪栄明／大島／大宮／小見川／学院／蒲郡／池上／龜有／福音／川越／川崎／喜界／木場深川／キリスト教会／兄弟団／小原宗教／鶴沼／熊谷／倉敷／高原／小平／坂戸／札幌めぐみ／佐渡相川／佐原／サンタクルラバレー／日系キリスト教会／静岡／の枝キリスト教会／柴又／白鷗／信愛小金井／仙台／袖ヶ浦／宝塚城／立川市／橋本／多摩／馬ヶ崎／千葉県光／調布／辻堂／鶴見光／東京フリー／メソジスト小金井／東京若枝／所沢／福音／戸田／柄木／豊中泉／長井／中川／中山／那覇／西落合／日本キリスト教団／新宿西教会／王生川／練馬神の教会／秦野／八王子／浜松／大和シヤローム／日野高幡／広島／広島／福音／福岡／福島／北条／鉢田／松本／松山／松山／桑原／丸泉聖書／北条／茂原／森の上／キリスト／大和カルバー／チャペル／由木／横芝／横浜／吉川／浜松／名古屋／麦  
【団体】教会サブラン会／宇都宮教会婦人会／神戸教会婦人部／善隣キリスト教会青年会／善隣キリスト教会婦人会／東京中央教会婦人会／所沢福音キリスト教会オーライの会／那場教会／横浜教会シオン／横浜教会社年会／横浜教会婦人会  
「つむり献血」遠藤正治／要守涼子／高松明／川崎教会／調布教会／横浜教会／メンノオーミニシヨン／ツヤヘル／学院アーティ四名  
東京聖書学院



書記  
若杉 直俊兄  
(西落合教会)

1954年東京都板橋区出身、現在埼玉県岩槻市在住。1976年12月日本ホーリネス教団松本教会で受洗、現在西落合教会所属。1982年医師免許取得、岩槻市で内科・小児科開業中。昨年まで東京西部教区信徒代議員であったが、今年から前役員大倉政市兄退任のあとをついで役員就任する。奉仕局の働きのうち、牧師健康相談事業にも携わる。

新役員を紹介します。

**抱負** 教団の神学校である東京聖書学院を後援する素晴らしい奉仕を与えられて感謝しています。役員1年目ですので諸先輩の指導のもと、職責をはたしていきたいと思っています。学院のある一帯はネヘミヤプロジェクトとしてここ数年大きく様変わりすることでしょう。のことにも、積極的に携わっていきたいと思っています。何よりも次世代を目指す修養生が多く与えられることを祈っています。



会長代行  
遠藤 正治兄  
(八王子教会)

宮城県生まれ、現在相模原市在住。ホーリネス教団東京足立区綾瀬キリスト教会出身、1970年23才で受洗、現在八王子教会所属。建築関連数社勤務通算40年を経て、2年前にリタイア。後援会役員は12年目で、今年度間室会長が教団委員（財務局長）就任に伴い「会長代行」を下命。趣味はゴルフ、山歩き、読書など。

抱負

**抱負** 実行委員に加わっているネヘミヤプロジェクトもスタートします。聖書学院施設のリニューアルに加え、神様に内的なりニューアル（リストラクチュア・リヴァイブ）を、と願います。教派を越えた日本宣教の拠点として益々用いられるように、微弱ながら地歩努力してゆきたい。なお一層のご支援ご加祷をお願いします。〔motto = 支えます - 献げます - 祈ります〕

# 11/4(月) 学院デー・分科会テーマ決定!

- A** コース(錦織 寛院長) 「カラマーゾフの兄弟」を読む
  - B** コース(西岡義行教頭) 「伝えるのは福音かキリスト教か—無宗教の時代の伝道」
  - C** コース(石原 潔教授) 「格差社会の弊害を斬る預言者の使信」
  - D** コース(水間照弥教授) 「黙示録から聞くメッセージ」
  - E** コース(齊藤善樹教授) 「信仰経験の心の側面」
  - F** コース(千代崎備道准教授) 「信仰を建て直す信仰(エズラ・ネヘミヤ記)」
  - G** コース(文屋小百合講師ほか) 「もっと、讃美歌に親しもう!」

申込書は、7月中旬から各地の聖会や、全国の教会で配付予定です。

# Family Workcamp

第16回  
ファミリーワークキャンプ

## 目的

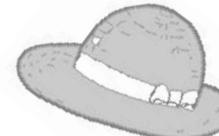
子どもから大人までが一緒になって、作業やクイズを楽しみ、ボランティアの楽しさを体験し、聖書学院を綺麗にすることです。

## 作業内容

花壇の手入れ(草取り、植え替え)、枝おろし(プラタナス・ミズキ・ヒバ等)。  
お茶や食事の支度 等。

## 持ち物・服装

帽子、着替え、タオル等。作業し易い服装。



## Time schedule

|       | 第1日 8月12日(月)          | 第2日 8月13日(火)        |
|-------|-----------------------|---------------------|
| 9:00  | 集合・打ち合わせ              |                     |
| 10:30 | コーヒータイム。語らいながらの休息     |                     |
| 12:10 | 昼食 自己紹介・証し・賛美         |                     |
| 13:30 | 午後の作業開始               |                     |
| 15:00 | 午後の休息 冷えたスイカなどを楽しめます。 |                     |
| 15:30 | 作業開始                  | 後片付け                |
| 17:00 | 作業終了                  | シャワーを浴びて解散          |
|       |                       | シャワーを浴び、夕食で解散(宿泊も可) |

### ●お祈り下さい

### ご報告とお願い

後援会会長代行 遠藤 正治

#### 1 2013年度、東京聖書学院援助の必要が満たされる様に!

- ①学院援助費1100万円
- ②修養生の特別援助金30万円
- ③修養生の夏季聖会(箱根)参加費援助
- ④聖書学院ネヘミヤプロジェクト援助100万円

#### 2 2014年度(来年)の学院入学者のためにお祈り下さい。

—2013年度の修養生在籍数(1~4年生〈インターン生〉)は15名です。

#### 3 会費のご協力を願いいたします。

#### 4 後援会の教会担当者を置いて下さい。

